

平成23年12月6日(火)

学生参加の双方向WS STEP2

STEP1での学生からの意見紹介

- ・医学部
- ・保健医療学部

STEP2: ディスカッション

双方向性WS STEP1 医学部編

開催日時：平成23年 11月29日 17:00～18:30

開催場所：医学部本部棟 北1講義室

参加者

学生：医学部一年生 7人

教員：医学部 7人

医療人育成センター 教養教育研究部門 1人

入学者選抜企画研究部門 0人

教育開発研究部門 3人

保健医療学部 0人



双方向性WS STEP1 医学部編

講義関係

- ・隔週の講義わかりにくく講義があるのかないのか間違えてしまう。
- ・講義の中には過去問をやるだけでOKな科目があり講義に出席する意味がないと思われるものがある。
- ・一方的に講義をすすめる(話をして)、また聞き取れない、理解できない講義がある。
- ・シラバスの内容と講義の内容の解離。充実していれば自習もできる。(ex.参考図書)

双方向性WS STEP1 医学部編

講義関係

- ・教員が学生のニーズをわかっていない。教員は教えたことだけ教えている。
 - 事前にアンケートをとってニーズ調査してはどうか？
 - そもそもニーズはあるのか？
- ・一年次にもっと医学に関連した講義がききたい。
- ・一年次は空き時間が多いのだが、二年次には急に講義がタイトで忙しく、大変になる。一年次に解剖はできないのか？
 - 一年次に解剖は可能。用意もある。
 - 自由に自学している。そのような余裕の時間も必要。

双方向性WS STEP1 医学部編

講義関係

- ・入試時選択しなかった科目が入学後履修が困難(知識不足)
 - 合格後入学前に自習を促す。
 - 選択講義として科目を設置
- ・やる気の差が激しい科目の存在。やる気がそがれる。
 - グループわけで、やる気別、能力別の編成を。

双方向性WS STEP1 医学部編

講義関係(教員から)

・教育に関しては、教員への見返りが無い。

→事前にアンケートをとってニーズ調査してはどうか？

→そもそもニーズはあるのか？

・2/3以上の出席を強要しているのだから講義内容の担保が必要では？

→出席を取らなくても熱意の感じられる、面白い講義には学生は出席する。自由出席はどうか？

双方向性WS STEP1 医学部編

生活関係

- ・興味を与えてほしい。
 - 興味の対象は自分で探すものでは？
 - 本を読む。多くの人、物事に接することができるよう積極的に becoming necessary なのでは？

双方向性WS STEP1 医学部編

学務課へ

- ・掲示板がみにくい。新旧の情報が乱雑に貼っており、見落とす。
 - メール配信はどうか？
 - 張り出した日時順の掲示。NEWマーク、掲示板内での配置を考慮(左は古いもの右は新しいもの)。
- ・情報の公開、提供が不十分。講義時間や休み時間の変更が十分伝わっていない。

双方向性WS STEP1 での意見

札幌医科大学



双方向性WS STEP1 保健医療学部編

開催日時：平成23年 12月2日 17:00～18:30

開催場所：保健医療学部 405講義室

参加者

学生： 医学部一年生 1人
看護学科 一年3人, 二年2人, 三年0人, 四年0人
作業療法学科 一年4人, 二年2人, 三年1人, 四年2人
理学療法学科 一年2人, 二年1人, 三年3人, 四年0人

教員： 医学部 0人
医療人育成センター 教養教育研究部門 1人
入学者選抜企画研究部門 1人
教育開発研究部門 3人

保健医療学部 3人



双方向性WS STEP1 保健医療学部編

講義関係

- ・講義に関し大きな不満はない。色々な先生がいて良い。学生全員に合った先生はいないと思う。(4年)
- ・レジメ、スライド、プリントなどの内容がweb上で公開されれば家で復習ができてよいと思う。(4年)
→著作権の問題がある。
- ・レジメの内容をそのまま話す講義があり非常に眠たくなる(外部からお招きした講師も読み上げるだけだった何のためにきたのか?)。考える機会も無く講義に出席する意味がないと思われるものがある。とくに一年次の講義に多い。(4年)
- ・単位取得だけが目的になってしまう講義がある。もっと知的好奇心をくすぐってほしい。(4年)

双方向性WS STEP1 保健医療学部編

講義関係

- ・レジメの内容をそのまま話す講義は3年の講義にもある。家で配布物を読めばよいだけになってしまう。自然とメモを取る必要が生じるような講義が良い。3年になり専門課程の講義が増えそのように思うようになった部分もある。(3年)
- ・学内のPCで欠席した講義の内容を見れるシステムがあるとよい。板書で講義を行う先生がいるが、早くて書き取れないことがある。もっと考慮してほしい。(3年)
- ・レジメの内容があとでみてわからないことがある(アニメーションなどを利用し重なりがあるスライドや小さなグラフ、表など)。(3年)

双方向性WS STEP1 での意見

札幌医科大学



双方向性WS STEP1 保健医療学部編

講義関係

- ・虫食いレジメ良いと思う。予習、復習する気になる。考える機会が増え良い。(2年)
- ・グラフや表の提示の際には見やすく(文字の大きさを考えて)、どこがポイントかをしっかり教えてほしい。疾患の分類などはただ提示されても何がどう重要なかわからない。
- ・説明が明確でないために講義中に理解できずに終わってしまうことがある。講義が全くわからない。わからないので質問にいったら先生もわからないと言われた。
- ・穴埋めレジメ方式は強制的に起こされている気がする。先生の経験が聞ける講義では自然に興味湧き、その先生からしか聞けない話だと思うと起きていられる。(2年)

双方向性WS STEP1 保健医療学部編

講義関係

- ・教員間のコミュニケーション(横のつながり)が悪い。レポート課題が重なることがあり負担重い(その逆に何も無いこともある)。(その他exelの学習時期やホメオスターシス)
- ・講義の内容と現場での重要性がイメージできない(講義の内容が現場でどう生きるのか?)。知識が現場につながる講義にしてほしい。(科目間でのつながりも)
- ・講義の中でのミニワークは講義に参加している感じがして良い。
- ・二年になり専門性が出てきてやる気があがってきた。一年生の頃は〇〇学科に入学したのに一般教養で専門性が出ずにモチベーションが下がるし焦りが出たり不安になる。モチベーションアップの方法を考えて!

双方向性WS STEP1 保健医療学部編

- ・一年生での講義(一般教養)の大切さは3年で気づいたりする。一年生のときに気づかせてくれたらと思う。医療人として必要な能力、知識なのだと伝えてほしかった(3年)。
 - 講義の中でなぜ学ぶのか、将来どの分野、どんな場面で必要になるのかを伝える必要がある。
- ・専門性が薄すぎて心配になる。タメになっていると判るとやる気が出るが、一般教養はただ消化しているだけの感じがある。
- ・講義は医療専門の大学ならではの内容を教えてほしい。臨床での経験を伝えてほしい。
- ・実習とテストが重なり負担が大きい。実習のまとめが先かテスト勉強が先か？

双方向性WS STEP1 保健医療学部編

講義関係

- ・必要なテキストの重要性を明確にしてほしい。必須ではないといながら穴埋めレジメの解答に必要だったりする。
- ・一般教養なんでやっているのか明確にしてほしい。
- ・Nsと比較して実践が少ない気がする。心配。
- ・テストの結果返してほしい。復習したい。
- ・同一科目を複数教員で分けてやってる講義でレベルを合わせてほしい。講義の設計をしっかりやって欲しい(横のつながり)。